

第4回磁気探査研修の開催について

沖縄不発弾等対策協議会では、平成21年1月14日に発生した糸満市での不発弾爆発事故を受け、民間事業者等が磁気探査を実施する際の磁気探査機器の貸出し及び民間事業者等に対して磁気探査の研修実施等を決定しているところです。

今回、市町村及び民間事業者等が機動的・積極的に磁気探査が実施できるように、不発弾に対する十分な知識を習得してもらうことで、埋没不発弾爆発等事故を未然に防止し、県民の安全・安心な生活の確保を図ることを目的として、第4回目の磁気探査研修を開催いたします（別添参照）。

<<第4回研修 募集期間>>

平成22年12月13日（月）～12月24日（金）

※上記期間以外に到着した応募は無効となります。

※募集定員に達した時点で募集は打ち切ります。

研修実施日：平成23年1月18日（火）～19日（水）

※本年度の研修は、最後となります。

※来年度の研修については、決まり次第お知らせいたします。

平成22年12月6日
沖縄不発弾等対策協議会

問い合わせ先

那覇市おもろまち2-1-1
内閣府沖縄総合事務局 開発建設部建設行政課
TEL 098-866-1908（直通）平川、永山

平成22年12月6日

沖縄不発弾等対策協議会事務局

第4回磁気探査研修の開催について

本県は、先の大戦において激しい艦砲射撃、砲爆撃を受けたことに加え、熾烈な地上戦の場となったため戦後60数年を経た今日でも、不発弾等の発見件数は依然として高い水準にあり、今もなお数多くの不発弾が埋没していると推定されています。

これらの不発弾等は、地中等に埋没してから60数年が経過しているものの、その殺傷力、破壊力は全く変わり無くきわめて危険であり、県民の安全・安心な生活の確保が大きな課題となっています。

今回、沖縄不発弾等対策協議会においては、市町村及び民間事業者等が機動的・積極的に磁気探査が実施できるように、下記のとおり不発弾等磁気探査研修（第4回）を開催することと致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 目的

機動的・積極的に磁気探査が実施できるように、不発弾等に対する十分な知識を習得してもらい、埋没不発弾爆発等事故を未然に防止し、県民の安全・安心な生活の確保を図り、また、沖縄総合事務局開発建設部（港湾、営繕を除く）が発注する工事を受注するに際して必要な磁気探査の品質向上を図ることを目的としています。

本研修を受講する事により、磁気探査機器の取扱い等を習得した方は、沖縄総合事務局が購入した磁気探査機器の無償借用が可能となります。

2. 対象者

- (1) 協議会構成機関（市町村含む）の職員
- (2) 磁気探査又は建設工事等を実施する民間事業者等の社員等

※民間事業者等

- ・磁気探査会社、測量会社、地質調査会社、建設コンサルタント会社、建築設計会社、宅地建物取引会社、NPO、協同組合、建設工事会社、電気水道工事者、造園工事会社等法人に所属し探査を行おうとする者、又はそれら法人の磁気探

査責任者

- ・自己所有地において探査を行おうとする法人の社員、個人

3. 申込条件

求める技術の性格上、学科研修と実地研修を1回の研修通しで受けられることが条件ですので、ご理解の上申し込み御願います。

なお、実地研修を予備日に実施することになった場合も同様です。

4. 日 程

- ・募集期間：平成22年12月13日から平成22年12月24日まで（必着）
※募集定員（120名程度）に達した時点で、募集は終了いたします。
※募集期間外に到着した申込書は無効とさせていただきます。
- ・学科研修：平成23年1月18日 火曜日 午後 1時00分～
- ・実地研修：平成23年1月19日 水曜日 午前 10時30分～
- ・予 備 日：平成23年1月20日 木曜日 午前 10時30分～

5. 場 所

- ・学科研修：那覇第2地方合同庁舎2号館 2階 災害対策室
那覇市おもろまち2-1-1
- ・実地研修：那覇市第2地方合同庁舎2号館周辺の緑地帯

6. カリキュラム

(1) 沖縄における不発弾対策について

↑課題：沖縄における不発弾等対策の取組み状況の把握

(2) 不発弾の種類・危険性、発見から処理までの流れについて

↑課題：不発弾等の種類、危険性の把握

不発弾等の発見から処理までの流れを理解し、不発弾等を発見した場合の適切な対応を習得

(3) 磁気探査における留意事項について

↑課題：磁気探査に必要な事項の習得

(4) 事前調査及び磁気探査機器の貸付制度について

↑課題：データベースを用いて、適切な事前調査方法の習得
磁気探査機器貸付貸付に必要な手続方法の習得

(5) 磁気探査の方法について

↑課題：陸上部の水平探査の適切な実施方法の習得

不発弾等埋没の可能性のある事象の把握方法の習得

(6) 磁気探査機器の取り扱い等について

↑課題：陸上部の水平探査の適切な実施方法の習得

(7) 磁気探査実地講習（2日目）

↑課題：磁気探査に伴う必要な作業方法の習得

探査機器の正しい操作及び安全な作業方法の習得

7. 申込み方法

平成22年12月24日（必着）までに別紙、受講申請書を「10. 問い合わせ先」まで提出してください。

受講申込書は、沖縄総合事務局開発建設部のホームページ「沖縄不発弾等対策協議会」からダウンロードして下さい。なお、問い合わせ先においても配布いたします。

アドレス <http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/4815/index.html>

※申込みの際の申請書には写真の貼付は必要ありません。研修当日に写真を貼付けた申請書と、別途写真1枚の提出を御願います。

募集定員は120名程度とします。受講可能な方は100名程度となり、20名程度の方は予備定員とします。募集定員を超えた時点で、募集は締め切り、その旨をHPに掲載し、お知らせいたします。

受講可能な100名程度の方には、1月10日頃までに受講通知書を送付します。受講決定後、受講が出来なくなった場合は、速やかに問い合わせ先まで申し出てください。キャンセルが発生した場合は、予備定員の方に直接連絡し、繰り上げで受講の可否を問い合わせさせていただきます。

受講は無料です。

8. 受講申請書

提出頂いた受講申請書は修了証明証作成及び名簿管理のため使用し、返却は致しませんので、ご了承御願います。

提出いただいた資料は当該目的以外では使用しません。

9. 研修修了証明証

研修修了証明証は、学科研修と実地研修を1回の研修を通じて受講した方に交付します。

10. 問い合わせ先

沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課 不発弾等情報係 係長 永山 盛久

〒900-0006那覇市おもろまち2丁目1番1号

TEL：098-866-1908 FAX：098-861-0537

e-mail：nagayama710@ogb.cao.go.jp

別紙

本人写真貼付覧

1. 縦 36～40mm
横 24～30mm
2. 本人単身胸からの上
3. 裏面にのり付け
4. 裏面に氏名記入

※申し込みの際には写真の貼付は必要ありません、研修当日に写真の貼付された申請書と、別途写真1枚の提出を御願いたします

受講申請書 (H22年度 第4回)	
受講者	住所 〒
	氏名
	電話
所属機関等	所在地 〒
	名称
	電話
	F A X
	代表者氏名
磁気探査機器借用予定の有無（どちらかに○） 有 ・ 無	
有の場合、その予定日 平成 年 月 日頃	

平成22年度 第4回 磁気探査研修日程表

日程	13	14	15	16	17	18
	30	35	45	55	15	50
	30	35	45	55	05	10
	30	35	45	55	05	10
1日目 (座学)	30' 【沖縄県】	5' 休憩	70' 【陸上自衛隊】	10' 休憩	60' 【沖縄県磁気探査事業協同組合】	5' 休憩
1/18 (火)	※沖縄においての不発弾等対策の把握		不発弾の種類・危険性、発見から処理までの流れについて	事前調査及び磁気探査機器の貸付制度について 【沖縄総合事務局】	磁気探査の方法について 【沖縄県磁気探査事業協同組合】	磁気探査機器の取り扱いについて 【沖縄県磁気探査事業協同組合】
			※不発弾等の種類、危険性の把握 ※発見から処理までの流れを理解し、発見した場合の適切な対応を習得	※磁気探査に必要な事項の習得	※陸上部の水平探査の適切な実施方法の習得 ※不発弾等埋没の可能性のある対象の把握方法の習得	※磁気探査機器の正しい操作方法の習得

日程	10	11	12	13	14	15	16	20
	30			50				
2日目 (実地)								
1/19 (水)								
予備日 1/20								

磁気探査実地研修<第1G>

磁気探査の方法及び磁気探査機器の取り扱いについて

- 140'
【沖縄県磁気探査事業協同組合】
- ・機器の名称、特徴
 - ・動作チェック
 - ・磁気探査～確認探査
 - ・機器の組み立て
 - ・探査測線設置
 - ・機器の片付け
- 1班17名程度で3班に分かれて実施

※磁気探査に伴う必要な作業方法の習得

※探査機器の正しい操作及び安全な探査方法の習得

休憩
(入れ替え)

70'

磁気探査実地研修<第2G>

磁気探査の方法及び磁気探査機器の取り扱いについて

- 140'
【沖縄県磁気探査事業協同組合】
- ・機器の名称、特徴
 - ・動作チェック
 - ・磁気探査～確認探査
 - ・機器の組み立て
 - ・探査測線設置
 - ・機器の片付け
- 1班17名程度で3班に分かれて実施

※磁気探査に伴う必要な作業方法の習得

※探査機器の正しい操作及び安全な探査方法の習得